



おおたも 中学校

教育目標

- 考えて創造する生徒
- 苦しみを克服する生徒
- 愛の精神に生きる生徒
- 生命を尊重する生徒
- 世界に目を向ける生徒

令和5年 9月 5日 特別号

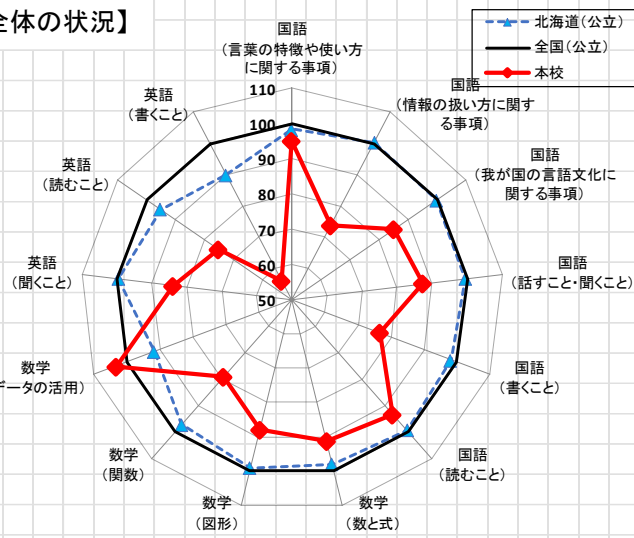
釧路市立大楽毛中学校 校長 林 政 孝

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析について〔釧路市立大楽毛中学校〕

令和5年9月1日

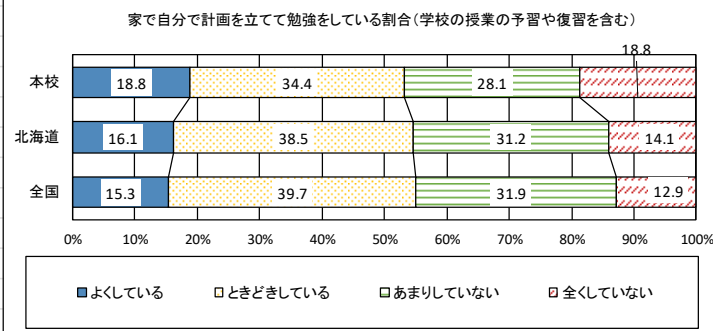
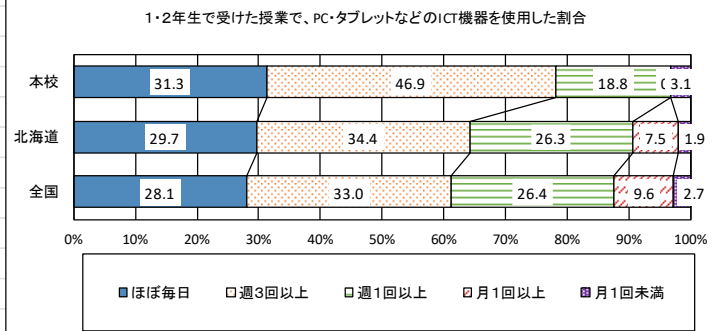
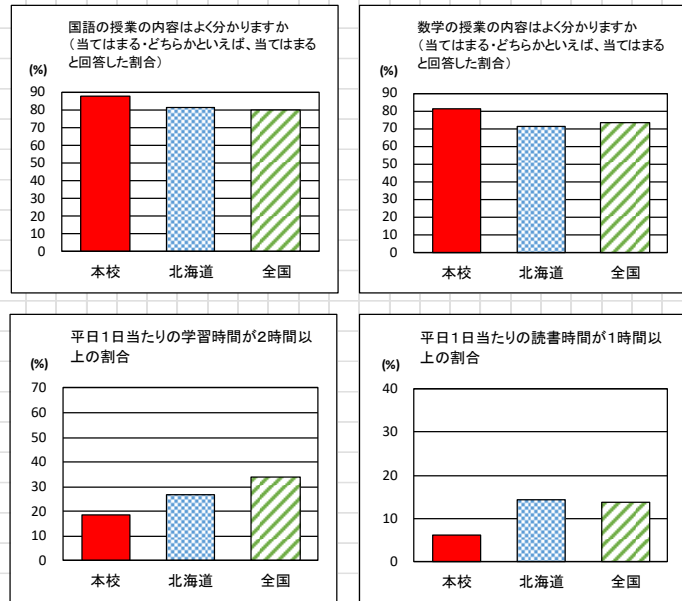
今年度4月18日に実施されました令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果が、過日、文部科学省から公表されたところです。本校においては、届きました結果を分析し、今後の対策や教育活動等の改善について検討してきました。つきましては、その概要と今後の取組の方向性をお知らせいたします。

【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本校の状況をレーダーチャートで示したものです(本校の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	成果		課題	
	国語	数学	英語	生徒質問紙
教科	○ 「言葉の使い方や特徴について」の領域で、全国平均値に迫る数値がみられた。	○ 「データの活用」領域の平均正答率が全道・全国平均を上回った。	○ 「聞くこと」領域の「思考・判断・表現」の設問で、全道・全国平均と同程度であった。	● 「書くこと」の領域で、全国水準を下回る結果がみられた。
	○ 「読むこと」の領域で全国平均値に近い数値がみられた。	○ 「思考・判断・表現」の観点の平均正答率が全道平均と同程度であった。	○ 「国語と数学と英語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全道・全国平均より高くなっている。	● 「情報の扱い方」の領域で全国水準を下回る結果がみられる。
	○ 「データの活用」領域の平均正答率が全道・全国平均を上回った。	○ 「思考・判断・表現」の観点の平均正答率が全道平均と同程度であった。	○ 「決まった時間に寝たり、起きたりしている」と回答した生徒の割合が高く、生活リズムが整っている生徒が多い。	● 「関数」領域の平均正答率が、全道・全国平均を大きく下回った。
生徒質問紙	○ 「話すこと・聞くこと」の観点の平均正答率が全道平均と同程度であった。	○ 「決まった時間に寝たり、起きたりしている」と回答した生徒の割合が高く、生活リズムが整っている生徒が多い。	○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている」と回答した生徒の割合が高くなっている。	● 選択式問題の平均正答率が、全道・全国平均を大きく下回った。
	○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている」と回答した生徒の割合が高くなっている。	○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている」と回答した生徒の割合が高くなっている。	○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている」と回答した生徒の割合が高くなっている。	● 「読むこと」領域の正答率が、全道・全国平均を大きく下回った。
				● 「書くこと」領域の正答率が、全道・全国平均を大きく下回った。
				● 記述で答える設問で、無解答率が高い。
				● 1日2時間以上家庭学習に取り組んでいる生徒の割合が全道・全国と比べて低くなっている。
				● 1日の読書時間が1時間以上の生徒の割合が全道・全国と比べて低くなっている。

【今後の本校の取組】

- ◎ 「授業で学んだことを、他の学習で生かしていますか」という質問に対して「生かしている」と回答した生徒の割合が全道・全国平均よりも低かったため、学習内容を活用する機会を増やし、教科間の関係性についても強調していきます。
- ◎ 「学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直して、次の学習につなげることができる」という質問に対して「できる」と回答した生徒の割合が全道・全国平均よりも低かったため、習ったことをその日にうちに復習して身に付けていくことが習慣化されていくように『家庭学習記録表』を活用していきます。

【家庭にお願いしたいこと】

- ◎ 上記のように、「1日の学習時間が2時間以上」の割合や、「1日の読書時間が1時間以上」の割合が低い傾向にあります。決まった時間に決まった場所で学習する、あるいは読書をするということは、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る上で不可欠です。学校でも指導しますが、ご家庭におかれましても、次の3点についてご留意ください。
 - お子様の家庭学習時間や内容に関心をもち、必要に応じて、取組に向けた働きかけをしてください。
 - お子様の就寝時刻やメディアタイムに関心をもち、必要に応じて、望ましい生活習慣の確立に向けた働きかけをしてください。
 - お子様、ご家庭で学習や読書に集中できるような環境整備を心がけてください。

